

せいねん ちち
青年の父

やまもとたきのすけ あしあと たす

山本瀧之助の足跡を訪ねて

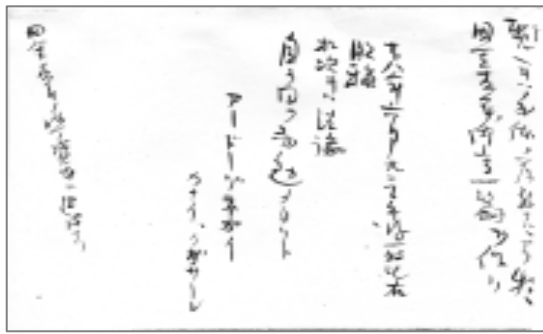
3「アー ドウゾ ネガイ カナイクダサーレ」の落書き

1891年(明治24年)松永小学校へ転勤した瀧之助は「青年党」と呼ぶ手書きの雑誌を作り若い仲間たちの間で回し読みをした。この雑誌には、彼が日ごろ考えていた青年会結成についての熱い思いを述べた論文を載せた。翌年、千年村常石小学校へ帰ると本格的な本の出版することを考えた。1895年(明治28年)の元旦の日記にその年に実行する項目を書いているが、その第一項に「田舎青年 緒豪ノ為メ必ズ一書ヲ著ハサン」とある。

しかし、筆は思うように進まず、あせりで精神的に追いつめられ、さらには発熱や病気におそわれ、この年の12月30日やっと書き上げた。今『田舎青年』の草稿・原稿が15冊残されているが、その中には朱書きで何度も訂正したものや「アー ドウゾネガイ カナイクダサーレ」や「神仏助之」など落書きがあるものもある。悲痛な思いで書き上げたことが伝わってくる。『田舎青年』が出版されたのは、1896年(明治29年)5

月のことである。
次号に続く

しつぷつ うえだせいし
執筆：上田靖士
(山本瀧之助研究会会員)



南部こなんんやるDay

ふくやましせい しゅうねんきねんじぎょう
《福山市制95周年記念事業》

やまもとたきのすけ
山本瀧之助

じゅんかい てん
巡回パネル展



87号で前半の5回を紹介しました、山本瀧之助巡回パネル展の後半の5回の日程をお知らせします。

- 1 とき 9月16日(金)～9月26日(月)
ところ 東部市民センターサロン
- 2 とき 9月27日(火)～10月5日(水)
ところ 学びの館ローズコム1階ロビー
- 3 とき 10月6日(木)～10月20日(木)
ところ 西部市民センターサロン
- 4 とき 10月21日(金)～11月1日(火)
ところ 内海市民交流センター
- 5 とき 11月2日(水)～11月14日(月)
ところ 沼隈支所ロビー

かいじょう てんじせつめいかい ひ もう くわ
会場ごとに展示説明会の日を設定します。詳しくは
なんぶしょうがいがくしゅう といいわ
南部生涯学習センターまでお問合せください。

とい あわ なんぶしょうがいがくしゅう
問合せ 南部生涯学習センター

980-7713



ポ～ノさんのささやき



8月初旬、岩手県釜石市・宮城県仙台市の親戚の家を訪ねました。釜石駅前には水も引き津波が襲った痕跡はみかけることが

ありませんでしたが、東側に目を向ければ、大きな瓦礫の山がありました。町の中心部は、未だに被災された住宅が多くあり、撤去も進んでいない状態です。被災者住宅も3割しか建設が進んでおらず多くの方が避難所で生活をされていました。宮城県の仙台市ではマンションが縦半分に分断されたのを見ました。(住民は強制退去だそうです。)

震災後停電、断水が1週間ぐらい続いていたため、トイレを流すことができない……。親戚は常時4リットルのポリ容器に水を汲み30本ぐらい備蓄をしていたため、ご近所にも配ったりして困らなかったそうです。仙台は今までに多くの地震に見舞われていて、その教訓で備蓄をしていたのだそうです。

東日本の友人はこう言いました。「西日本の人たちは、しっかり働いて税金をたくさん納めてください。そのことが東日本の人を救うことになるのですから……。」

お亡くなりになられた多くの方々に心から哀悼の意を込めてお祈りします。



ふっこう む かまいしし
復興に向かう釜石市

